

# 発見

から見た

今回は、特集でも紹介した、綿向山の青年の塔の建設やタイムカプセルを埋設した元日野青年団の皆さんにお話を伺いました。

## 当時の活動

日野青年団としてのタイムカプセル埋設事業などの活動だけではなく、レクリエーション部、社会部、女子部などの各部にわかれての活動や、駅伝などの各地区青年団同士の交流が多くあったそうです。また、「仕事が終わった後はみんなで集まるのが日課だった」と話されました。



元日野青年団の皆さん

## 日野青年団の熱い思い

綿向山の青年の塔の建設・タイムカプセルの埋設は、並々ならぬ苦労があったそうです。「建設するための石やセメント、綿向山の8合目と9合目の間にある湧き水『金明水』を一斗缶に汲んで運ぶだけではなく、登山道を覆う笹を手作業で刈りながら歩いた。綿向山を何十回も往復して、夜間登山をしたり、テントを張って泊まりがけで行ったこともあった」と話されました。はじめは途方もない計画で全く先が見えな

かったそうで、「多くの会議を重ねて実施に至った。3月に実施の意見が出て、その後9月にやっと完成した。日野青年団の熱い思いの賜物だ」と話されました。町内各地区の青年団の方のみならず、県内の青年団の方などたくさんの方にご協力いただいで完成することができ、完成したときは肩を抱き合い涙を流しながら喜んだそうです。

## タイムカプセルの取り出し

タイムカプセルを取り出すまでの50年間はとても短く、あつという間だったそうです。「タイムカプセルを取りだして、50年後に意味を残すことができ、私たちの活動は間違いなかった」と話されました。

## 日野町連合青年会へ伝えたい

「自分たちがやってきたことを体感し、引き継いでくれた。タイムカプセルと一緒におろしながら、感激してくれた姿を見ることができて、私たちの活動に共鳴してくれてとてもうれしい。11月10日の綿向山の日を大切にしながら、今の日野町を後世に残していくって、私たちもそうであったように、彼らにも50年先の励みや生きがいになってほしい」と話されました。

## とぎに進める

### 「琵琶湖森林づくりパートナー協定」

滋賀県では、水源の森林と下流域の企業の支援とをつなぐ「琵琶湖森林づくりパートナー協定」の取り組みを進められています。

このたび、町内4例目となる協定を、綿向生産森林組合と東洋アルミニウム(株)および東洋アルミニウム(株)との3者で締結されました。

8月10日(水)、滋賀県公館において三日月県知事、堀江町長立ち会いのもと協定の調印式が行われました。

森林は「東洋アルミグループ みんなで創るびわ湖 未来の森」の愛称が付けられ、今後3年間、3者が協働して水源の森林づくりを進められることとなります。



## ◆問い合わせ先

農林課 農林振興担当  
☎0748-521-6563